

稲作情報 No.25

大豆適期収穫・そば生育状況、早期秋起し

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成: 福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

【大豆】成熟期は平年並みの見込みですが、一部落葉が遅い圃場もあります。

刈り遅れは、裂莢による損失、多雨による腐敗粒のリスクが高まるため、**適期の収穫を実施しましょう。**

【そば】開花期以降、**高温の影響により結実しにくい状態が続いており、平年より成熟期は遅くなる見込みです。**

ハスモンヨトウの発生が、一部地域で多くなっています。そばの圃場を観察し、食害が甚大なところは防除を検討しましょう。

【水稻収穫後】**10月中に秋起し**をしましょう（早期秋起こしの効果はNo24参照）

〔大豆〕農業試験場周辺の里のほほえみ圃場



成熟期直前の圃場



一部落葉が遅い圃場もある

〔大豆の収穫時期の目安〕

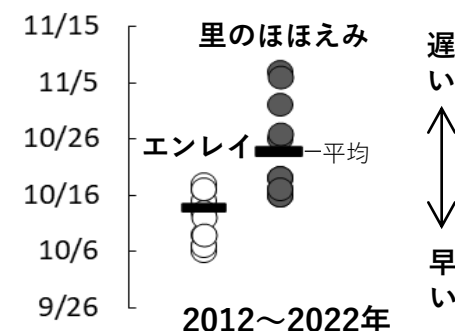
項目	状態
子実水分	22%以下
子実の状態	球形で爪跡が5mm程度付く硬さ、品種固有の色
莢	莢は褐色で振るとカラカラと音がする
葉柄	大部分が落下

〔子実水分と外観の目安〕



水分30%以上 27% 22%

〔年次による成熟期の違い〕



〔そば〕



気温の低下で結実開始



ハスモンヨトウが多い